



PORSCHE



北京モーターショー2018 におけるポルシェ

プレスキット

目次

複合燃費と排出量	3
-----------------	----------

北京モーターショー2018におけるポルシェ

アジアでプレミアを祝うミッションEクロスツーリスモと911 GT3 RS	4
---	----------

ポルシェがクロスオーバーユーティリティビークル(CUV)のコンセプトスタディモデルをアジアプレミア

ポルシェ ミッションEクロスツーリスモ：アクティブなライフスタイルのための電気ハイパーフォーマー	6
---	----------

自然吸気エンジン搭載の最もパワフルな公道仕様の911のアジアプレミア

モータースポーツへの明確な照準：ニューポルシェ911 GT3 RS	11
--	-----------

複合燃費と排出量

911 GT3 RS:燃料消費量(市街地)19.2リッター/100 km、(郊外)9.0リッター/100 km、
(複合)12.8リッター/100 km、CO₂排出量 291 g/km

北京モーターショー2018におけるポルシェ

アジアでプレミアを祝うミッションEクロスツーリスモと911 GT3 RS

ポルシェは、ミッションEクロスツーリスモによって、2018年北京モーターショーの公式テーマの“Steering To A New Era”（新時代への舵取り）の核心を突きます。この華麗なスタディモデルは、E-モビリティの近未来を示します。ミッションEクロスツーリスモは、高性能スポーツカーであるニュー911 GT3 RSと並行して、中国首都で開催されるモーターショーにおいてアジアプレミアを祝います。北京モーターショー2018は4月29日から5月4日まで北京で開催されます。

ミッションEクロスツーリスモ：CUVの電撃的スタディモデル

ミッションEクロスツーリスモは、プレミアムスポーツセグメントの新たなマーケットにおけるEモビリティの核心と可能性を開拓します。ポルシェ初のクロスオーバーユーティリティビークル(CUV)となるこのスタディモデルは、エレクトリックスポーツカー、ミッションEのコンセプトに基づきます。ポルシェ特有のスポーツカーデザインとオフロード性能を統合することによって、エレクトリックドライブを含む多数のコンセプトを1台の車に結びつけます。ミッションEクロスツーリスモは、マウテンバイク、サーフィン、あるいはウインタースポーツなどの冒険心にあふれたレジャーに適しているのと全く同じく、日常走行にも適しています。室内の空間を重視したデザインにより多用途でもあります。ポルシェによるE-モビリティは、ミッションEクロスツーリスモにおいてもまた高い性能を誇ります。最高出力440kW(600PS)を発生し、500kmを超える航続距離、そしてわずか15分の充電で400kmの走行が可能です。このCUVモデルは、ポルシェの全てのコンセプトカーと同様に、ミッションEの派生能力を実証します。

モータースポーツへの明確な焦点：520PS自然給気エンジンを搭載したニュー911 GT3 RS

ポルシェは中国において、かつてないほどの急速な2ドアスポーツカー需要の高まりを経験しています。ニュー911 GT3 RSのアジアプレミアは、このトレンドにさらに拍車をかけるでしょう。この高性能911モデルは、自然吸気エンジンを搭載した最もパワフルな公道仕様のポルシェです。総排気量4リッターの水平対向6気筒エンジンは最高出力383kW(520PS)を発生し、最高回転数は9,000rpmにおよびます。リアアクスルステアリングを備えたシャーシも妥協のない精度にチューニングされており、ニューGT

モデルの心臓部であるエンジン同様にモータースポーツに直接由来します。広範な回転域で得られる最大トルク、ダウンフォースを最適化する軽量ボディ、そして卓越した横方向のダイナミクスを提供するニュー911 GT3 RSは、ファステストラップを達成するために理想的な車です。

まもなくオープンするアジア初のポルシェ エクスペリエンスセンター

北京モーターショーの開催に合わせて、ポルシェの魅力は、さらに強烈な体験となります。ポルシェAGのセールスおよびマーケティング担当取締役のデトレフ・フォン・プラテンは、2018年4月26日に、上海にアジア初のポルシェ エクスペリエンスセンターを開設します。カスタマーエクスペリエンスセンターは、2004年から毎年F1中国グランプリが開催されている上海インターナショナル・サーキット(SIC)に隣接しており、テストサーキット、スラローム、オフロードコース、およびトレーニングルームを備えた100,000-m²の施設は、ポルシェのカスタマーとファンのための利用が可能です。ポルシェ エクスペリエンスセンター上海は、世界の6番目のセンターで、ライブツィヒ、ル・マン、シルバーストーン、アトランタ、およびロサンゼルスにも同様の施設があります。

ポルシェにとって記録更新の年となった2017年の中国

中国はポルシェにとって最大の個別市場です。2017年に、ポルシェの販売台数は65,246台から71,508台(+10%)に増加しました。ミッドシップエンジンスポーツカーの718ボクスターと718ケイマンは、5,998台(+148%)、パナメーラは6,258台(+22%)、スポーツSUVのカイエンは26,398台(+19%)、911スポーツカーアイコン(918スパイダーを含む)も1,674台(12%+)に増えています。中国市場で最も成功を収めたモデルであるマカンは31,180台でした。2017年末に広州のポルシェ スタジオがオープンし、中国における100カ所目の販売拠点をマークしました。ポルシェ スタジオは、“Porsche on Sylt”の革新的な販売戦略に倣う新しいショールームコンセプトで、ポルシェは、このポルシェ スタジオを使用して、新しいターゲットグループと日常生活においてさらに直接的に交流することを計画しています。

ポルシェがクロスオーバーユーティリティビークル(CUV)のコンセプトスタディモデルをアジアプレミア

ポルシェ ミッションEクロスツーリスモ：アクティブなライフスタイルのためのエレクトリックハイパーカー

ポルシェが北京モーターショーで公開するミッションEクロスツーリスモは、未来への先駆けとなる電気駆動クロスオーバーユーティリティビークル(CUV)のコンセプトスタディモデルです。このオールラウンダーは、旅行、スポーツ、あるいはその他のアウトドア活動に余暇を費やし、アクティブなライフスタイルを好む人々をターゲットにしています。4輪駆動によってスキー場までの運転も容易です。一方、フレキシブルなインテリアは、あらゆる種類のスポーツ用具を積み込むためのたっぷりとしたスペースを備えており、最新のマウントシステムによってサーフボードやポルシェ e-bikeの輸送も簡単です。

この4ドア4シーターのデザインは、目立つオフロードエレメントはもちろんのこと、タッチスクリーンと視線追跡装置を備えた新しいディスプレイ&制御コンセプトが気持ちを高ぶらせます。全長4.95mのコンセプトカーは、800Vの急速充電ネットワークに対応しており、インダクション、充電ドック、あるいはポルシェ ホームエネルギー管理システムによる充電も可能です。公道対応が万全なミッションEクロスツーリスモは、2015年にフランクフルトモーターショーで初公開されたスタディモデル、ミッションEの派生モデルです。

デザイン:紛れもないポルシェのDNA

パワフルに湾曲するフェンダーの間で低く構えるフロントフード。ミッションEクロスツーリスモのフロントは、一瞥ただけでスポーツカーのアイコンであるポルシェ911とのつながりが明らかです。「エアカーテン」と呼ばれるフロントの垂直のエアインテークは、デザインの目立つ特徴です。LEDマトリックスヘッドライトも、スタイリングのハイライトとなっています。ポルシェ特有の4灯のデイトタイムランニングライトは細く立体的なガラスのエレメントに進化しています。エアインテークの中に浮かび上がるこれらのライトは、新しい4灯式のインジケータライトとしても機能します。さらに、この車両はポルシェX-Sight高性能ハイビームの恩恵を受けます。オフロードのデザインエレメントには、頑丈なホイールアーチやドアシル、目立つフロントスポイラーとリアエプロン、ロードクリアランスの拡大が含まれます。

シルエットは、ポルシェのデザイナーによって「フライライン」と呼ばれる後方に傾斜するスポーティなルーフラインを特徴とします。この要素はパナメーラ スポーツ ツーリスモのリアにも採用されています。サイドウィンドウのダイナミックなデザインはポルシェ特有のスタイルです。広いフェンダーとフロントホイール後方にエアインテークを備えた立体的なサイドウォールが、全幅1.99mのコンセプトカーのスポーツクロスオーバーの特徴を引き立てます。オフロードルックが目立つサイドスカートと20インチホイール&275/40 R 20タイヤも明確な特徴を付加します。

このスタディモデルは、専用のライトグレーメタリック塗装によって、リアからも一目でポルシェであることがわかります。スポーティなフロースルー・ルーフスポイラーに加えて、お馴染みのフルレングス・ライトストリップも備わります。ホワイトの“PORSCHE”イルミネーションロゴはガラス仕様で、回路のグラフィックが描かれた立体的なカバーの中に埋め込まれています。車両の充電時には“PORSCHE”の“E”の文字が点滅し、回路のグラフィックが点灯して車両のエネルギーフローを視覚的に表現します。フロントウィンドウからテールゲートまで広がる大型のパノラミックルーフは広々とした感覚を生み出します。

多用途性：あらゆるモビリティのニーズを装備

ミッションEクロスツーリスモは、クロスユーティリティの特徴を持つ市販型ツーリスモ派生モデルを具現化します。この車は、旅行、日常生活、アドベンチャーいずれにも適した車であり、都市でも郊外でも多用途に使えるパートナーです。スポーツ、あるいはその他のアウトドア活動に余暇を費やし、アクティブなライフスタイルを好む人々をターゲットにしています。乗員は、全高1.42mの4シーターの多用途性を享受することができます。リアの2つの独立シートのバックレストには、スキーなどの長尺物を積み込むために便利なハッチが統合されており、バックレスト本体は折り畳み可能です。ラゲッジコンパートメントは、着脱式調節ベルトを備えたレールシステムによって荷物を迅速かつ安全に収納することができます。ミッションEクロスツーリスモの乗員は、ミッションEクロスツーリスモの乗員は、高性能な電気駆動システムを装備したポルシェ電動アシスト自転車のポルシェe-bikeを使用して、車から降りても2輪によるモビリティを楽しむことが可能です。

インテリア：目に見える軽量設計

インテリアは、従来のポルシェ エレメントを完全に一新してデジタル時代へと移行します。たとえば、メータパネルは、車幅を強調するウイング型の上下セクションで構成されています。ダッシュボードは、ドライバーと助手席乗員のための超ワイドディスプレイによる水平レイアウトを備えます。ドライバー側に湾

曲・傾斜する独立したメータ類は、丸形3連メータで構成されておりTFTディスプレイにデジタル表示されます。フロントシート間のセンターコンソールはダッシュボードに向かって上昇線を描きます。センターコンソールの間接照明は、アンビエントライトとともに独創的な雰囲気包みます。

インテリアのデザインエレメントには、ダッシュボードや、“PORSCHE”イルミネーションロゴを冠したレースタイプのスポーツシートなど、可視化された軽量設計も含まれます。ドアパネルは、表面が構造化された斬新な立体エレメントを備えます。エアベントやウインドウレギュレーターモジュールの周囲に施されたノルディックブルーのアルマイト製トリムは、アニリンレザーによるツートンインテリア(ブラック/ライトグレー)にカラフルなコントラストを加えます。

パワートレイン：600PSを超えるスポーティなE-パフォーマンス

2つの同期モーターを搭載するミッションEクロスツーリスモは、600 PS(440kW)を超えるシステム最高出力を発生し、0-100km/h加速タイムは3.5秒未満、0-200km/h加速タイムは12秒以下です。この性能に、電気自動車では前例のない連続的な出力レベルが加わり、性能を損なうことなく連続して何回も加速を開始することができます。ポルシェトルクベクトリングを備えたデマンド制御4WDは、トルクを自動的に各ホイールに分配してパワーを路面に伝えます。

シャシー：アダプティブエアサスペンションによる快適性と俊敏性

4輪操舵はこの車両のすぐれた俊敏性と安定性に寄与し、アダプティブエアサスペンションは50mmまで車高を上げることが可能です。ポルシェダイナミックシャシーコントロールシステム(PDCC)はコーナリング時のロールを抑え、起伏の激しい地形で横方向の安定性を改善します。

ディスプレイと制御コンセプト：ユニークなユーザー体験

ミッションEクロスツーリスモのハイライトは、新しいディスプレイ&制御コンセプトです。ドライバーの視界へ最適に配置されたヘッドアップディスプレイの直感的な操作と情報は、ドライバーの気を逸らすことはありません。さらに、新しいコネクティビティソリューションによって、車両はデジタルなライフスタイルに完璧に統合されます。その結果、非常にユニークなユーザー体験が得られます。

最も重要なディスプレイと制御オプションには以下が含まれます。

- 視線追跡によるドライバーディスプレイ:仮想の丸形3連メータで構成されるメータ類は、Porsche Connect、パフォーマンス、ドライブ、エネルギー、およびスポーツクロノのカテゴリーに割り当てられています。視線追跡システムが、ルームミラーのカメラを使用してドライバーが見ているメータを認識し、ドライバーが関心を寄せるディスプレイを最前面に移動しながら視線を逃れた他のディスプレイをバックグラウンドに縮小表示します。ディスプレイは、ステアリングホイールのスマートタッチコントロールを使用して操作します。
- パッセンジャーディスプレイ:この画面は助手席側の横いっぱい広がります。助手席乗員は、視線追跡とタッチテクノロジーによって、メディア、ナビゲーション、クライメートコントロール、連絡先などの機能にアクセスし、各種のアプリを操作することができます。
- センターコンソールのタッチコントロールフィールド:詳細な情報メニューを備えます。
- スモールタッチスクリーン:このスクリーンは、マルチファンクショナル・ウインドウレギュレーターモジュール内(シート調節とシートコンフォート機能用)、およびダッシュボード左右のフィンレス・エアベント内にあります。このタッチスクリーン上を左右にスワイプすると風量などの調節ができます。

「スマートキャビン」アプローチは操作をシンプルにします。車両設定、車内クライメート、およびアンビエントライティングの全てが、乗員の好みと走行条件に応じて自動調整されます。

ドライバーは、車両から離れた場所でさまざまな情報にアクセスして設定を調節することもできます。タブレット、スマートフォン、あるいはスマートウォッチで、エアコンシステムからナビゲーションまでの全てのカスタマイズオプションを前もって設定することができます。

DestinationsApp : パーソナルトラベルアシスタンス

Porsche Connectは20を超えるデジタルサービスとアプリを提供しています。ミッションEクロスツーリスモのDestinationsAppは、デジタルプラットフォームが近い将来にどのようなメリットを追加するかを示します。このアプリを使用すると、週末の旅行をスマートフォン上のわずか数段階の操作で迅速かつ容易に計画することができます。このアプリは、感動を与える旅行の目的地を提案し、予約、ルート計画、

レストラン、およびスポーツ用具の手配なども簡単に行うことができます。DestinationsAppによって、ミッションEクロスツーリスモのシャシーを選択したルートに合わせて調整し、旅行にふさわしい音楽、クライメートコントロール、およびアンビエントライティングを選択することもできます。

充電：高速かつ簡単

車両の800Vのアーキテクチャにより、リチウムイオンバッテリーを充電するとわずか15分で約400kmの航続距離(NEDCに基づく)が得られます。このコンセプトカーは移動中と自宅の両方でフレキシブルな充電が可能で、イオニティ合弁事業によって欧州の道路に設置される急速充電ネットワークに対応しています。ミッションEクロスツーリスモは、仕事場ではインダクションテクノロジーによって、自宅では充電ドックやポルシェ ホームエネルギー管理システムを使用してバッテリーを充電することができます。ポルシェ ホームエネルギー管理システムは、自宅の太陽光発電と組み合わせると太陽エネルギーを使用して充電することも可能です。

自然吸気エンジン搭載の最もパワフルな公道仕様の911のアジアプレミア

モータースポーツへの明確な照準：ニューポルシェ 911 GT3 RS

ポルシェAGのモータースポーツ部門は、北京モーターショーにおいて、ヴァイザッハ生まれの最新モデルとして、モータースポーツ向けのシャシーを採用し、最高出力383 kW(520 PS)の4リッター高回転自然吸気エンジンを搭載した911 GT3 RSを発表します。この新しいハイパフォーマンススポーツカーは、911 GT3をベースにして、さらに改良を重ねたもので、最大限のダイナミクスと精度が得られるようにリファインされたリアアクスルステアリングを含むランニングギアのセットアップと、性能が向上したエンジンとが組み合わさっています。911 GT3 RSの0-100 km/h加速は3.2秒で、最高速度は312 km/hに達します。911 GT3と911 GT2 RSの導入に続く、この最新リリースにより、ポルシェは公道走行が可能な3つ目のGTスポーツカーを年内に発表できることになりました。

エアロダイナミクスとレーシング仕様のインテリア

クラシックな固定式リアスポイラーを備え、ワイドで重量が最適化されたボディのデザインは、エアロダイナミクスに基づいて決定されています。外観と同様に内装もレーシングカー然としており、ハイレベルなドライビングダイナミクスを踏まえ、カーボン製フルバケットシートがしっかりとしたサイドサポートを提供します。収納ネットとオープニンググループ付きの軽量ドアパネル、遮音材の縮小、新しい軽量リアリッドが、素材の選択の一貫性をいっそう強調しています。

520 PSの最もパワフルな自然吸気エンジン

ニュー911 GT3 RSに搭載されるポルシェの4リッター6気筒自然吸気エンジンは、スポーツカーを新たな限界へと導きます。このフラットエンジンは、先代モデルや911 GT3のエンジンよりも最高出力が15 kW(20 PS)アップしています。最高9,000 rpmに達する回転域との組み合わせは、純粋なスポーツエンジンとしては理想的な選択となっています。特別にチューニングされた7速PDKと相まって、このエンジンは抜群の走行性能を確保します。

モータースポーツテクノロジーを駆使したシャシー

モータースポーツに直接由来するテクノロジーにより、シャシーは比類ないドライビングダイナミクスを発揮します。全てのアームのボールジョイントは、従来の弾性運動学に基づくベアリングよりもさらに優れた精度を可能にします。フロントの20インチ軽量ホイールと新開発の265/35スポーツタイヤは俊敏性とステアリングの挙動を高め、リアの21インチホイールと325/30タイヤはトラクションを向上させます。